

平成20年度第5回安全・安心・生きがい部会摘録

開催日時 平成21年1月29日(木) 18時30分~20時30分

会場 プレハブ会議室

参加委員

専門部会A委員：松世三重子部会長、三浦敏博副部会長、荒井康男、猪股清二、綱川幸子、萩原保夫

事務局：(企画課)渡邊課長、小池主査、北村主査、小出主任、齊藤職員、吉田職員
(地域振興課)花岡主査

議題

1. 「地域防犯活動の推進」の部会のまとめについて
2. その他

(松世部会長)

これまでの検討の方向性を確認。

(三浦副部会長)

資料1に基づき、前回の部会での意見を確認。

(松世部会長)

- ・事務局から、わんわんパトロールについて、参考資料の説明をお願いします。

(事務局)

参考資料1・2に基づき、「高津わんわんパトロール隊」「わんわんパトロール隊発足のケーススタディ」を説明。

(松世部会長)

- ・検討の方向性に沿って、具体的にどのように取組んでいくかについて、第3回区民会議に向けた部会のまとめが行えるよう話し合っていきたいと思います。では、2つの取組内容ごとに、皆さんからご意見をいただきたいと思います。はじめに、取組1の「地域での防犯活動をもっと知ってもらおう」です。ここで事務局から「青色防犯灯」について、参考資料の説明をお願いします。

(事務局)

参考資料3に基づき、青色防犯灯について説明。

(荒井委員)

- ・わんわんパトロールをもっと具体的に提案してみたらどうでしょうか。具体的な方法、選択肢を示してあげては。本日記りましたが、川崎区でわんわんパトロールをやっているグループの代表の三澤さんに、お宅で話を伺いました。NPOではなく、川崎区の愛犬家グループだそうで、警察に登録しているそうです。会員数は、34人から始めて現在は約80人ということです。問題は、活動資金。反射するワッペンのような札をリードに付けて散歩するやり方で、これが1個600円、印刷代が200円かかるということです。
- ・犯罪の一步手前の状況に遭遇したらどうするのか、です。犯罪を見たら当然誰でも警察に通報しますが、一步手前はどうか。警察に登録しているとのことなので、その関係を保つことは大事だと思います。パトロールについては、義務化はされていません。なるべく子どもの登下校時に合わせて散歩してくださいねといわれているということです。
- ・活動の継続、モチベーションの維持がいちばん大事だと思います。警察のホームページで犯罪発生状況を見て、三澤さんがメールで情報を会員に提供し、モチベーションを上げているそうです。保護者への犯罪情報のメール配信に、わんパトのメンバーも何人か入れてもらっているそうです。
- ・地域は8町会にわたっているそうです。
- ・幸区は川崎区の隣だからぜひ一緒に広げていきましょうとのことでした。
- ・川崎区は、行政に費用負担を頼んだが、出してもらえなかったそうです。会員からの会費と寄付などでまかなっているらしいが、私は公的などところからの支援などでやれるようにするべきだと思います。
- ・大事なものは、情報の入手・提供、資金ですね。警察との関係では、「川崎わんわんパトロール隊の です」と言えば警察が取り合ってくれる、ということだろうと思います。

(松世部会長)

- ・警察に登録してあるというのは、会員それぞれが登録しているのですか。

(荒井委員)

- ・わんわんパトロール隊として登録してあるのだと思います。

(三浦委員)

- ・連絡通報先は、110番ではなく、専用の回線があるのか。

(荒井委員)

- ・そこまでは聞いていません。警察は「怪しい」だけでは取り合ってくれないので、そこが難しいと言っていました。

(松世部会長)

- ・川崎区、幸区など行政境で分けなくて、一緒にやれれば良いと思いますが、川崎わんわんパトロール隊の方に来ていただき、話を聞くのはどうでしょうか。

(事務局)

- ・構わないです。

(松世部会長)

- ・広報媒体を活用して防犯情報や犯罪情報などを地域で共有することについて、市政だよりに防犯のことを載せる、町内会回覧板、掲示板に載せる、生活していくうえでの目にとまる広報、その他にも効果的なものがあれば出してください。

(荒井委員)

- ・犯罪情報を載せた回覧板が重要だと思います。私の自宅のほうでは、犯罪の一步手前、不審者情報などが回覧板で必ず回ってきます。たとえば空き巣があったとか、人の家を覗いていたとか。掲示するだけでなく、回覧板を回せば見ると思います。
- ・既存の防犯パトロール活動があるが、そのような団体に警察のつかんだ情報を流してほしいですね。ただ何となくパトロールに回っているよりは、そういう情報があった方が意識が違うのではないかと思います。

(猪股委員)

- ・わんわんパトロールは、川崎区の事例をたたき台にして考えていったらいいと思います。予算は、防犯関係の団体から寄付をもらったらどうでしょうか。
- ・青色防犯灯について、昔ガードの下に変な色に見える防犯灯がありましたが、今はないので、効果がなかったのでしょうか。
- ・防犯情報は、掲示板、回覧板だけでなく、PTA などにも紙媒体で配ってはどうでしょうか。

(三浦委員)

- ・荒井委員の情報源は、町内会の担当みたいなものがあるのですか。

(荒井委員)

- ・町内会の班長から回ってきます。主導権をとってやっているようです。

(猪股委員)

- ・川崎市では、そのような情報は町内会長に流します。犯罪以外の情報でもそうです。町内会長から防犯部長までは情報はいくと思います。

(松世委員)

- ・防犯部長まではいきますが、私たちのところまで情報がくるのでしょうか。古市場交番だよりというのがありますが、この発行は、交番の判断？ 署の判断？

(猪股委員)

- ・署の判断ではないでしょうか。

(コンサルタント)

- ・やはり、普段から地元交番と町内会のつき合いをしっかりとっておくことが重要だということですね。

(荒井委員)

- ・警察には、犯罪情報について迅速に伝えてもらえないかお願いすることが重要だと思います。町内会連合会には、そのような情報が入ったら各町会に周知徹底を頼む、各町会は町内での情報提供を徹底してもらおう、ということが大事だと思います。

(松世委員)

- ・他にアイデアはありませんか。

(三浦委員)

- ・防犯灯は、誰が設置するのですか。

(猪股委員)

- ・防犯灯かどうかわからないが、街灯は町内会から防犯協会に4月に申請します。市から補助金が出て、半分は町内会が負担します。維持費は市が計算して自動的に振り込まれます。

(荒井委員)

- ・街灯が少ないところは、町内会でないとわからないですよ。行政がやりなさいというわけにはいかないでしょう。また、この問題と青色防犯灯の話は違うのでは。

(猪股委員)

- ・私の知っている範囲では、必要なところに街灯がないということはないと思います。その街灯を青色防犯灯に変えるのは意味がないと思います。

(三浦委員)

- ・話は違うが、オートバイに青色回転灯を付けて走っているところはないですか。たとえば、新聞配達に青色回転灯を付けるとか。

(事務局)

- ・ 町内会・自治会で青色回転灯をやるなら、町会が自動車を所有して申請しないと回転灯は着けられないです。

(コンサルタント)

- ・ 新聞配達のとくに、黄色いベストを着てパトロールを兼ねてもらおう取組はありますね。

(荒井委員)

- ・ 今の街灯を青色防犯灯に変えるのは、意味がないのではないのでしょうか。あまり効果が検証されているわけではないようですし。

(コンサルタント)

- ・ 防犯灯なのか、青色防犯灯なのか整理ができていないようで...防犯灯をどうしたいのかというのが見えてこないですね。

(松世委員)

- ・ 暗いところを明るくするとか？

(コンサルタント)

- ・ 明るいところもあるので、明るくしてくださいという提案はできないと思います。子どもたちにいゆるヒヤリマップをつくってもらって、夜危そうなところを出してもらおうという事例はあります。

(綱川委員)

- ・ 暗いところは、その町内会長がいちばん知っていると思います。

(荒井委員)

- ・ 青色防犯灯については、他の都市で効果が検証できていないということで、検討したが今回の提言には入れない、ということでよいのではないのでしょうか。

(松世部会長)

- ・ では、青色防犯灯は、見送ることとします。
- ・ 続いて、取組2の「青少年に関心をもち青少年を犯罪の加害者にならないようにする」ということについては、どうですか。

(荒井委員)

- ・万引き対策は、大型店舗への依頼をどうやって行うのか考える必要があります。万引きしにくい商品陳列、私服警備ではなく制服警備員による警備を、依頼するにはどうしたらよいか。
- ・声掛けは必要だが、怖い場合があります。できることからどんどんやってみたらどうでしょうか。声掛けキャンペーンみたいなものを実施し、地区の団体に協力してもらおうのはいかがでしょうか。
- ・相談窓口をどうやって知らせるかについて、せっかくある窓口を活用してもらいたいので、ポスターをもう一回貼るとか枚数を増やすとか。PRを強化したいですね。

(松世部会長)

- ・高校生くらいの子が相談できる場所はあるのでしょうか。

(事務局)

- ・高校生も相談できると聞いています。また、年に1回、春、子どもの人権キャンペーンを行っています。子どもの人権専門員というも任命されていますし、相談機関が書かれたポスターも貼っています。また、川崎市では、子どもの権利の日を定めてその前後の期間でキャンペーンを行っています。

(荒井委員)

- ・今までのやり方でPRが足りないので、もっと増やすとか、メールとか。いじめられている子に「チクった」と言われるのをびくびくしている子どももいると思うので、そういうことも考えないといけないですね。連絡方法とか、相談員が会うときは誰にも分からないようにするとか、相談しやすくする工夫が必要だと思います。こういう窓口やってますから来てください!と言ってもなかなか来ないと思います。

(三浦委員)

- ・カウンセラーは学校にどれくらいいるのでしょうか。

(松世部会長)

- ・今は、各学校にカウンセラーがいて、週1回か2回くらいいるそうですが。相談窓口で相談できる子はいいですが、できない子をどう救うのかが問題です。
- ・万引きしづらい店舗づくりの方はどうでしょうか。

(荒井委員)

- ・大型店舗への働きかけはどうやってするのでしょうか。万引きしづらい商品の陳列方法、見回りをしっかりやってもらうには。

(松世部会長)

- ・これをどのように店舗に伝えるのか？警察からの通達のようなもので可能なのでしょうか。

(コンサルタント)

- ・話し合いの場をもつことしかないでしょう。

(荒井委員)

- ・市議会でぜひ取り上げてほしいです。

(松世部会長)

- ・A部会では、青少年の取組についてこのような形でまとめていきたいと思います。

2. その他

(松世部会長)

- ・区民会議での発表についてです。検討経過を私が説明します。現状と課題、取組を三浦副部会長と荒井委員にお願いしたいのですが。

了承。

(松世部会長)

- ・次回以降の審議テーマをどうするかについてです。

(事務局)

- ・B部会では、引き続き地域コミュニティの推進を検討することになりました。

(綱川委員)

- ・私の知っている自治会もわんわんパトロールに興味をもっていますから、もうすこし具体的に検討した方がよいと思います。

(松世部会長)

- ・A部会の方でも引き続き同じテーマを検討したほうがよいと思います。

引き続き、地域防犯の推進について検討することで了承。

(荒井委員)

- ・次回から具体的な検討を行うので、他都市の事例など具体的なものを調べて資料として用意していただきたいのですが。

(事務局)

- ・事務局の方でも事例を調べてみます。各委員の方でも何かあったら情報を提供してください。事前に情報をいただければ事務局の方で調べることもできますので。

以上